

大正

あんなものから
こんなものまで
つくっています

ものづくり

MAP

- 1 大中工業
- 2 三立電気工業
- 3 大阪鋼圧
- 4 南齒車製作所
- 5 ウツエバルブ
- 6 フィル
- 7 紀洋木材
- 8 ジェイパック
- 9 コメック



大阪市大正区

Vol.4

冷凍米飯食品



2016年1月26日

釜焚きのおいしさに自信
冷凍ご飯のバイオニア

8 ジェイパック

大手デパートの紙袋や企業オリジナルの封筒、水道やガスのバルブに取り付ける荷札の製作を手掛けるのが(有)ジェイパックだ。本社1Fの工場では1分間に200枚ものスピードで流れてくる封筒を、一枚ずつ女性スタッフが目視でチェックする。「印刷や折りに不備がないか、この速さで正確に検品できるようにするまでは、3年はかかりましたね」(課長の山本誠さん)。

親会社の此花紙工は、2年前にベトナムのホーチミンにも工場を設立、グループ全体で月産400万枚もの紙袋等を生産する。紙袋の業界にも安い海外製品が入ってきているが、品質に不安があるため、とくに高級感が求められる化粧品の手提げ袋などはジェイパックに加工を頼む会社が多いそう。封筒に関しては「セールやキャンペーン用に、朝にオーダーが入ってその日のうちに仕上げて欲しい、なんて言われることもあります。お客様のニーズに合わせて、短納期で高品質の袋を納品できるのがうちの強みです」。



●大正区小林東2-6-25
☎06-4394-5223
<http://www.konohana.co.jp>

9 コメック

お米を使った冷凍食品を製造するコメックは、味の素のグループ会社だ。コンビニやスーパーの冷凍食品売り場に並ぶ五目チャーハン、エビピラフなどを一日に約75トン(お茶碗に換算して約50万杯分)生産しており、これは国内で販売される味の素ブランドの冷凍米飯の約半分に相当する。

「冷凍米飯って、バラバラで使いやすいですね。実は、このお米を一粒ずつ冷凍する技術は、当社が開発したものなんです」と語るのは総務グループ長の瀬戸慶太郎さん。炊飯については日本の伝統製法にこだわりの、大きな丸い釜で丁寧に炊き上げた、ふくらとしたおいしい米飯製品を市場に供給している。

近年ニュースで食品への異物混入が問題となっているが、コメックではそうしたトラブルを事前に100%防ぐため、万全の体制をとる。「取引先の原料の原料まで遡って確認し、エビの殻はすべて目視でチェック。社員が工場では着用するユニフォームも、ICタグで管理しているんです」。



スーパーやコンビニの売場に並ぶ人気商品の多くをここで作っている。

●大正区平尾1-3-29
☎06-6553-1121
<http://www.ffa.ajinomoto.com/>

紙袋



ベテランスタッフが作る
紙袋は大阪随一の品質

スタッフの多くも会社の近くに住む大正区民だ。

大正区の“現場”を大公開。 ものづくりの迫力を体感できる 仕組みそくそく。

子どもたちに「ものづくり」の迫力と格好良さを知ってもらおうと、様々なジャンルの工場が「大正区役所」に出張する「ものづくりフェスタ」。大人たちは知恵をめぐらし、ゲームなどを通して、子どもたちに自慢の技術や製品の面白さを伝えるべく頑張ってきました。その甲斐あって、当日はおよそ1,000人の親子連れが訪れるビッグイベントに。企業がチームを組むことで団結力も強くなり、今年は第4回の実施を迎えます。

一方、昨年実現した「オープンファクトリー」は、「ものづくりフェスタ」の枠を飛び出し、工場見学ができるというもの。2日間にわたり、大正アイルランドに点在する工場を、渡船などを使って観光スポットと一緒に巡るツアーでした。普段はなかなか見学できない場所が一斉開放されるとあって、参加した17企業の現場にはおよそ190人が足を運びました。

見る側も見る側も、大正区が「ものづくりの街」だと再認識できるイベントが増えています。さらにパワーアップする今年こそ、ものづくりの迫力と格好良さを体感してみたいかでしょう。

